

七日 磐城時報

編輯 石城郡平町新屋十四
印刷 石城郡平町新屋十四
發行所 石城郡平町新屋十四
電話 一〇四一
廣告部 石城郡平町新屋十四
電話 一〇四一
日刊(日曜、祭日)休刊

磐城消防の紛擾

警察部長に排斥陳情 擁護派に平署を訪ふ

石城郡警備消防組頭若松憲太郎氏は過般來一部村會議員並に副組頭木田周平氏等から反對をうけ排斥運動を起されてゐたが、消防幹部並に組員が擁護の態度をとつてゐるため最近一部村議連は警察部長に對し若松組頭排斥の陳情書を提出したので之を知つた消防組幹部は憤慨し七日代表者若松組頭御代重安、新幹部小題齋藤榮幸外十餘名は平署に小田部署長を訪ひ擁護の陳情をなした。

小玉川發電所 竣工披露式

平電力株式會社の小玉川第一發電所竣工披露式は同日所小玉川神社の選宮式は六日盛大に行なはれたが、來賓二百餘名午前九時奉式後第一發電所取入口設備を視察して午後三時盛會裡に散會した。

陪審員資格者 四倉

▲陪審員資格者 四倉 署では本月十五日頃陪審員資格者の改選を行ふ筈である。

發動機の故障で

高等飛行延期

明八日平町で行ふ

松崎二郎君の郷土訪問飛行應援右飛行機は突然發動機に故障をのため來郡した船橋民間飛行學生したので六日中には飛行不能校木下教官等の操縦する飛行機となつた。然し發動機の修理は六日午後一時から平町新川南空く終つたので明八日平町に於ける高等飛行を行ふ筈である。他の冒險飛行を行ふ筈であつたためこの空前の壯舉を見やうとして平町の人々は勿論遠く双葉郡方面からまで見物の群衆押し寄せ入出二萬人に達したが、産業組合石城部會では今月中旬

産業組合で 自力更生策

産業組合石城部會では今月中旬

四倉信用幹事會

▲四倉信用幹事會 四倉信用組合では近々幹事會を開き定期總會の日取りを協議する事になつた。

木炭移出商總會

▲木炭移出商總會 濱三郡木炭移出商組合第二回總會は十二日午前十時から川前村警察署前で行なはれたが、松本豊松氏宅で開き價格の協定等の検査後各戸の電場の検査を行つた。

吉田簾月師の横暴で

池坊本派揉める

五師の聯合華會を 吉田社中と宣傳

平町池坊華道教授吉田簾月、武今更の如く憤慨し波瀾が捲き起内藤月、菊地艶月、横山美聲、らうとしてゐる。須藤松霞園の五師は各々門下生を率ひて去る七月二十九日家元華老岩田立山師を招き平町、トモホールに於て聯合華會を開催したが、右華會の状況を池坊の機關雜誌「蘭風」に掲載するに當り吉田簾月氏は大膽にも他の四氏及びその門下生を全然除外して原稿には「吉田簾月社中通信といふ」標題で蘭風十月號に掲載されて來たので武内、菊地、横山、須藤の四師は憤慨し家元に問合せた處原稿通り掲載した事が判明し吉田氏の横暴に組合役員一同濱小傳馬船漁業者が、仄聞する處によれば小傳

諏訪神社改築

▲諏訪神社改築 江名町鎮諏訪神社は工費七千圓で改築する事に決し目下有志が寄附募集中である。

磐陽野球協議

▲磐陽野球協議 磐陽野球協會のキヤンペンは十日午前七時から平町マルトモホールに開く。

菊花品評會

▲菊花品評會 平千秋會主催の菊花品評會は六日から四日間平署會議室で開催中であるが、出品六十餘点に達してゐる。

四倉消防検閲

▲四倉消防検閲 四倉消防組秋季検閲は五日の火防デモをトとして午前七時より同町警察署前で行なはれたが、服装、器械器具等の検査後各戸の電場の検査を行つた。

縣管検査反對のため

濱組合で追加陳情

十二項目に亘り理由列挙

濱三郡木炭同業組合では應報の馬船漁業者八十餘名は既に三十如く木炭同業組合の反對運動を余日間の水揚魚代金が漁業組合起し或る程度までの成功をおさしより精算支拂なきためこれ等のめて明年からの實施計劃が一家族は其の日の糊口にさい窮し年間に延期されたが、更に濱三郡木炭同業組合では七日十二項目に亘り反對追加陳情をなした。一、木炭同業検査について二、縣管検査時機の可否は業者に大影響あり三、規格其他木炭に關する統一は恐る可き結果を生ず四、縣管検査料金は相當額に増加すべし五、縣管検査する時は組合解散の外なし六、縣管検査は實業方面の伸縮自在に適合せざる嫌あり七、縣管検査の統一したる規格は普通需要地の嗜好に適合せざる傾向あり八、採取標準検査は品質を粗悪ならしむ九、縣管検査上木炭業者の苦痛は検査の日を定め集合検査を爲す事あり十、組合の毎俵検査と縣管標準検査との對照上縣管検査は劣るべし十一、検査料の剩餘金を若し歳に繰入れる如きは社會政策上最も忌むべき事たるべし十二、結論

赤井獄男

河瀬東朝子最近愛兒美貴君(四つ)を喪ふ、吾れ子を亡くしたる事なげれと斯くもありなんぞ想ひて詠める。あるも愛し焼くも得難へす。残されし玩具を前に我は感ひけり。みまかれる子の思ひ出ははにあれどかの片言の忘られなく。何ごぞを豫約話のたまゆらに亡き子を憶ひ聲はせつかりそめの病がなごて永しに吾子を奪ふと知るべかりしや。それよりは小さき男の子の遊べるに顔そむけ行く君となりけり。

小名濱の 火葬場問題

小名濱では火葬場建設につき累代の町理事者が町民と共に研究を續けて來たが、敷地並に經費等の問題で實現を見るに至らず漸く本年度に至り隣接石城郡玉川村と合同設置する案が具体化し小名濱、玉川兩町村衛生組合が主体となり豫算三千圓で敷地を玉川村大字岡小名地内に決定し本年度内に起工する運びとなつた。これに對し地元岡小名區民の設置反對が起り行機みとなり目下兩町村有志等協同地元の諒解を求めてゐるが、結局從來の火葬執行は始と三里餘を離れた火葬場に依頼するから野外火葬場で行ふかで經費と不便から言つても地元の諒解は時期の問題と見られてゐる。

娘一人無斷家出

石城郡内郷村宇宮武太郎長女遠藤みさこ(二一)同女よし子(一八)の兩名は四日夜上京して立派な人になつて歸るから跡を追はないで下さいといふ書置きを殘して家出したので五日實父から平署に捜査願が出た。

無切符乗車

▲無切符乗車 去る四日午前八時三十九分平野常磐線上り列車に無切符で入り込んでゐる男あるを車掌が発見平野へ引渡したが、右は東京市瀧野川區瀧野川町生れ無職鈴木茂(二二)ト歸郷旅費に困つて盛岡から無賃乗車をなし檢札のたび便所にかくれて免れて來た旨申のべてゐるが不審な點があるので引續き取調中である。

魚代金がとれず

氣の毒な小船漁業者

四倉漁業組合に交渉

石城郡四倉濱漁業組合では此程側役員と會見し重要協議を重ねたが、仄聞する處によれば小傳

10日 体温計の検査日です
検査機 新設
お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
 ◎毎月十日の検査日御利用下さい
 度量衡 指定販賣人 **西村屋薬局**
 計量器 電話三番

生命保険の相談所

◎保険料立替 ○証券擔保貸付 ○失効解約請求手續と同時に受取金立替 ○復活手續き保険料立替、保険料の拂込の期間は六日後二ヶ年経過すると解約返戻金一厘も取れなく時効となりますから早く手續が必要で
 當所は會社と契約者との中間に立ち最も迅速に、最も確實に、最も善良なる相談相手として皆様の御用命を期待して居ります。
 石城郡鹿島村(江尻中方)
秋山保険相談所支店

消費節約

品質 本位 **家庭染料**
みやぶ染
 平町一丁目 特約店 **大平や薬店**
 電話四六二番

平看護婦會

會長 清野キヨ
 平町字南町 電話三〇七番
 看護婦派出の需めに應じます

磐城共濟病院案内

院長 醫學博士 石山謙郎
 内科 醫學博士 石山謙郎
 小兒科 醫學博士 佐久間粹郎
 外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂重
 喉科皮膚科 醫學士 有馬勇二
 産婦人科 醫學士 五十嵐雄
 X光線科 醫學博士 佐久間粹郎
 衛生試驗所 醫學博士 石山謙郎
 藥局 技師 高石藤山
 診療時刻午前八時より午後五時迄
 平町 **磐城共濟會**
 電話六四一

石鹼ニカク

生命と信用を賭して
 精選せる純良の
 質と量
 最後の一片が消え去る迄
 優雅な香が續く
 化粧用 一ヶ 十錢
 洗濯用 一ヶ 十錢
ツルヤ
 平町4 電140

かまぼこ 折詰仕出し

御惣菜用さつま揚、吉原揚
 平町二丁目 **藤市蒲鉾店**
 電話三〇五番

蓄積安心 融通低廉
三幸無盡
 大藏大臣免許
 湯本信用無盡會社
 電話四七番

胃腸 内科 専門
痔瘻 外科 専門
 腸十二指腸 痔瘻 淋病 皮膚病
松村科醫院
 平町南町 (電話一七〇)

大藏大臣免許
磐城無盡
 湯本信用無盡會社

故花澤貞子儀葬送の際は御多用中態々御會葬被成下且御深厚なる御弔意に預り難有奉拜謝候
 茲に乍略儀以紙上御答禮迄如此に御座候
 昭和七年十一月七日
 花澤 兎五 敬具
 親戚友人一同

耳鼻咽喉科 専門
氣管食道科 専門
 病室完備：自炊の便あり
 平町南町 **大和田醫院**
 電話一七〇番

専門内科一般
 内科ハ何デモ診療致マス
 呼吸器病バカリデアアリマセン
 平町南町六五改(電話一八一番)
川井内科診療所
 醫學士 川井重子
 女醫 川井安子

外科 一般外科 内臓外科
 性病科 X光線科
 入院隨意(自炊の便あり)
 元赤心堂病院跡
安齊外科醫院
 電話四七五